

令和元年度

事業報告書

公益財団法人 被爆者福祉会  
原爆被爆者特別養護ホームかめだけ

# 令和元年度事業報告書

## I 事業の概要

### 1 事業目的

原子爆弾被爆者を援護し、その福祉の向上を図ることを目的とする。

### 2 概況

#### (1) 設立年月日

昭和54年6月28日

財団法人被爆者福祉会として設立

平成25年4月1日

公益財団法人へ移行し、『公益財団法人被爆者福祉会』  
に名称変更

#### (2) 受託事業

昭和55年7月21日、長崎県・長崎市と委託契約を締結し、原爆被爆者特別養護ホーム「かめだけ」において受託運営を行う。また、平成12年4月1日より原子爆弾被爆者養護ホームショートステイ事業の受託運営を加えて現在に至る。

### 3 役員等の状況

#### (1) 役員等の人数

理事長（1人）、常務理事（1人）、理事（3人）

監事（1人）、評議員（5人）

#### (2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動状況

本年度中の理事・監事の異動なし

#### イ 令和2年3月31日現在の理事・監事

役職	氏名	就任年月日
理事長	深堀龍三	令和元年 6月 4日
常務理事	内海 修	令和元年 6月 4日
理事	西村正昭	令和元年 6月 4日
理事	杉澤泰彦	令和元年 6月 4日
理事	中村 勉	令和元年 6月 4日
監事	西村 勇	令和元年 6月 4日

### (3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動状況

本年度中の評議員の異動なし

イ 令和2年3月31日現在の評議員

役職	氏名	就任年月日
評議員	川口 滋	平成29年 6月21日
評議員	中嶋敏昭	平成29年 6月21日
評議員	堤 儀雄	平成29年 6月21日
評議員	平野直幸	平成29年 6月21日
評議員	竹島勝昭	平成29年 6月21日

## 4 理事会等の開催

### (1) 理事会・監事監査会

会議名	年月日	場 所	内 容	審議結果
令和元年度 第1回 理 事 会	令和元年 5月20日	かめだけ	(1) 平成30年度事業報告、 貸借対照表、損益計算書（正味 財産増減計算書）及びこれらの 付属明細書並び財産目録（案） の承認について	承認
			(2) 令和元年度公益財団法人 被爆者福祉会第1回評議員会 の招集の決定について	原案可決
			理事長、常務理事の職務の 執行の状況の報告	終了
令和元年度 臨時理事会	令和元年 6月 4日	かめだけ	(1) 理事長選定について	選定
			(2) 常務理事選定について	選定
令和元年度 第2回 理 事 会	令和元年 11月 8日	かめだけ	理事長、常務理事の 職務執行状況について	終了

会議名	年月日	場 所	内 容	審議結果
令和元年度 第3回 理 事 会	令和2年 3月24日	かめだけ	(1) 令和元年度法人会計・ 公益目的事業会計収支補正 予算（案）について	原案可決
			(2) 令和2年度事業計画（案） について	原案可決
			(3) 令和2年度法人会計・ 公益目的事業会計収支 予算（案）について	原案可決
			(4) 令和2年度資金調達及び 設備投資の見込みについて	原案可決
			理事長、常務理事の 職務執行状況の報告 について	終了
監事監査会	令和元年 5月10日	かめだけ	平成30年度事業報告及び 決算報告について	—

## (2) 評議員会

会議名	年月日	場 所	内 容	審議結果
令和元年度 第1回 評議員会	令和元年 6月4日	かめだけ	(1) 平成30年度貸借対照表、 損益計算書（正味財産増減計算書） 及びこれらの付属明細書並びに 財産目録の承認について	承認
			(2) 役員を選任について	選任
			平成30年度事業報告について	終了

## 5 定 款

事業年度中の定款の変更なし。

## Ⅱ 業務の運営

当法人が運営する原爆被爆者特別養護ホーム「かめだけ」は、利用者の方々が安心して安全な生活を送ることが出来るよう、一人ひとりの心身の状態に合わせ、本人の意思及び家族の意向を最大限に尊重し、介護の在り方や職員の育成及び研修の充実等を図り、より質の高いサービスの提供を目指しています。また、安らぎや潤いのある施設の環境づくりを行い、施設の運営に努めています。

認知症ケアの充実、重度化への対応など、医療・看護・介護の連携強化を図るとともに、疾病未然防止のため口腔ケア・栄養管理等を重点に置き、介護ICT化等を推進し施設運営の適正化・効率化等において一層の充実に努めた。

業務運営の主な内容は次のとおりです。

### 1. 定員

特別養護ホーム	55人
短期入所生活介護（ショートステイ）	3人

### 2. 入所者の状況（令和2年3月31日現在）

#### ア) 入退所状況

（単位：人）

区 分	長崎県			長崎市			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
3月31日現在員	8	22	30	7	18	25	15	40	55
新規入所者	0	2	2	0	5	5	0	7	7
退 所 者	0	2	2	2	4	6	2	6	8
年度末現在員	8	22	30	5	19	24	13	41	54

#### イ) 出身市町村別入所状況（単位：人）

出身市町村	男	女	計
長崎市	5	19	24
佐世保市	1	4	5
西海市	3	5	8
諫早市	0	1	1
時津町	2	9	11
長与町	2	3	5
計	13	41	54

#### ウ) 年齢別状況

（単位：人）

区 分	男	女	計	摘 要		
70 ～ 74	1	0	1	男85.54歳 女88.71歳 平均87.94歳		
75 ～ 79	2	3	5			
80 ～ 84	0	6	6			
85 ～ 89	6	12	18		最高	最低
90 ～ 94	4	13	17		男 94歳	74歳
95 ～ 99	0	7	7		女 96歳	75歳
100歳以上	0	0	0			
計	13	41	54			

## エ) 入所期間

(単位：人)

	30年以上	25年以上	20年以上	15年以上	10年以上	5年以上	4年以上	3年以上	2年以上	1年以上	1年未満	計
	30年未満	25年未満	20年未満	15年未満	10年未満	5年未満	4年未満	3年未満	2年未満			
計	1	2	1	0	1	17	8	4	6	7	7	54

## オ) 原爆被爆者手当の受給状況

(単位：人)

区分	医療特別手当	特別手当	保健手当	健康管理手当	計
受給者数	1	1	1	51	54

## カ) 日常生活状況

(単位：人)

区分	歩行	車椅子	食事	排泄	身だしなみ	入浴
自立	3	5	27	4	4	1
一部介助	6	16	7	24	31	3
全介助	0	24	20	26	19	50

## キ) 看取りの状況

平成30年度死亡者数		看取り希望者数
施設	病院	令和2年3月31日現在
4人 (3人)	4人	3人

※ ( ) の数は、看取り対応を希望していた者の内数

## ク) 利用者負担金の状況

負担段階区分	人数	構成比
1 段階	2	3.7%
2 段階	9	16.7%
3 段階	32	59.2%
4 段階	11	20.4%
計	54	100%

※自己負担額 (日額)

区分	食費	居住費	計
1 段階	300円	0円	300円
2 段階	390円	370円	760円
3 段階	650円	370円	1,020円
4 段階	1,392円	855円	2,247円

## 3. 利用者への処遇向上

- (1) 利用者一人ひとりの立場に立って、その人らしい生活ができるよう安心して安全なサービスの提供に努めた。
- (2) グループ毎に介護目標を設定し、個別にきめの細かい生活支援を行えるよう努めた。
- (3) 利用者の生活の向上を図るため、適切な相談・援助等を行い、一層の充実に努めた。
- (4) 利用者とのコミュニケーションの充実に努め、気配り、心配りのある「心のケア」に努めた。
- (5) 利用者の生活状況について、家族の面会等を通じて情報交換を行い、利用者の心の安定と家族の理解を深めた。

#### 4. 生活の質の向上と生きがい対策

- (1) 利用者の要望やニーズに応え、個別に地域に出かけて買い物をしたり、外食をしたりと、余暇活動を楽しむことが出来るよう努めた。
- (2) 様々な行事やバスハイク等を行い、施設生活に潤いと楽しみが持てるよう努めた。
- (3) 趣味活動、クラブ活動を行い、自主性を尊重しながら残存機能を維持できるよう努め、生活リハビリの促進に繋がるよう支援し、生きがい対策に努めた。
- (4) 地域の小学校等とのふれ合い交流や、平和学習等での被爆体験談等を行い、被爆者としての交流を深めた。

#### 年間行事

区分	行 事
4月	・花見週間（外庭） ・誕生会
5月	・端午の節句（会食） ・母の日（カーネーションプレゼント） ・誕生会 ・大相撲五月場所勝者予想ゲーム（12～26日）及び表彰式 ・春のバスハイク（ハウステンボス薔薇観賞） ・第39回恵の丘原爆ホーム別館との交歓会
6月	・大村公園花菖蒲観賞会 ・父の日（ハッパプレゼント） ・誕生会
7月	・小学校との七夕交流集会 ・反核平和の火リレー集会 ・誕生会 ・大相撲名古屋場所勝者予想ゲーム（7～21日）及び表彰式
8月	・原爆忌 ・夏祭り ・誕生会
9月	・大相撲秋場所勝者予想ゲーム（8～22日）及び表彰式 ・敬老祝賀会 ・誕生会 ・月見会
10月	・おくんち栈敷観覧（長崎県より招待） ・秋のバスハイク（西海市七ツ釜前コスモス見学） （ハウステンボス食事会） ・誕生会
11月	・大相撲九州場所勝者予想ゲーム（10～24日）及び表彰式 ・文化祭（展示及び演芸会） ・誕生会
12月	・クリスマス会 ・忘年会 ・誕生会
1月	・正月会食 ・新年会 ・七草会 ・誕生会 ・大相撲初場所勝者予想ゲーム（12～26日）及び表彰式
2月	・節分 ・誕生会
3月	・桃の節句（ひな祭り） ・誕生会 ・大相撲春場所勝者予想ゲーム（8～22日）及び表彰式

※買い物の日は、毎月随時に行う。

クラブ活動

区分	部員	活動日	時間
カラオケ	12名	随 時	----
生 花	4名	毎週1回	----
園 芸	3名	随 時	----
手 芸	11名	随 時	----

慰問・交流会等

年 月 日	団 体 名 等
令和元年 5月 16日	第39回恵の丘原爆ホーム別館様との交歓会
31日	活水中・高校宗教部様慰問
6月 6日	第1回西海市立ときわ台小学校様とのふれ合い交流会
27日	原水禁国民会議様慰問
7月 5日	第2回西海市立ときわ台小学校様との七夕交流会
24日	第35回反核・平和の火リレー集会
8月 1日	長崎県知事様、長崎市長様原爆慰問
7日	日本生活協同組合連合会様慰問
8日	原水禁国民会議様慰問
	コープこうべユニオン様慰問
10日	西峰会様、西彼うず潮太鼓様、フラダンス（ナニワヒネ）様慰問
18日	歌謡ショー慰問（久川様）
9月 7日	中山音楽教室様慰問（歌謡）
9月 15日	活水中・高等学校様（敬老の日メッセージカードプレゼント） 西海市立ときわ台小学校様、大地アキオ様、西峰会様慰問
	長崎原爆被爆者の会様（22名との交流）
25日	あお空ピヨピヨ合唱団様慰問（20名）
11月 17日	高校生平和大使（12名）との交流会 引率者2名 長崎原爆被爆者の会（24名）
28日	第3回西海市立ときわ台小学校様とのふれ合い交流会
12月 11日	生活協同組合おかやまコープ様（ひざかけ恵贈）
24日	西峰会様慰問、西海市立ときわ台小学校様 長崎原爆被爆者の会様（23名との交流） 活水中・高等学校様（クリスマスカードプレゼント）

※生活協同組合コープこうべ 活動グループ「おらんこ」様より季節ごとに利用者への「絵手紙、メッセージカード」をプレゼントして頂く。

原爆慰問・平和学習等および原爆取材等

- (1) 長崎県知事様及び長崎市長様より慰問を受ける。
- (2) 日本生活協同組合連合会様より慰問を受ける。
- (3) 原水禁国民会議様より慰問を受ける。
- (4) コープこうべ定時職員協議会様より慰問を受ける。
- (5) 長崎新聞社取材（特集被爆ノート）
- (6) 村松 明 様写真塾原爆取材
- (7) NHK（被爆者が家族に実相を伝えたか）取材
- (8) 西日本新聞社取材



## 5. 健康管理

- (1) 利用者の健康管理や医療機関受診及び入退院について、医師からの指示及び家族等への説明や相談に応じ、健康保持のための適切な手当、援助に努めた。
- (2) 食中毒及び感染症対策のため、日常からの消毒作業や清潔に心がけ、衛生管理に努めるとともに、インフルエンザ予防接種を実施し感染症予防に努めた。  
本年度中のインフルエンザ発症は無かった。
- (3) 令和2年2月24日、社会福祉施設等の利用者等に新型コロナウイルス感染症が発症した場合の対応について厚生労働省の通知に基づき、感染拡大防止のため感染症対策委員会を開催、2月29日より面会中止、3月1日よりショートステイ利用中止を決定。その旨通知書を家族へ通知。
- (3) 終末期の対応として家族の要望を踏まえ、医師の指示の下、職種間連携を密にし「看とりケア」の充実に努めた。
- (4) 咀嚼機能や嚥下機能を維持・向上させるため、歯科医師及び歯科衛生士による専門的口腔ケアと介護職員による口腔ケアの徹底に努めた。
- (5) 利用者の残存能力の維持・向上を目的としたリハビリテーションを実施し、毎月2回以上外部専門理学療法士の個別指導及び指示を受け、生活動作能力の向上に努めた。

## 6. 給食提供状況

利用者の嗜好や身体状況に応じた献立及び行事食等の充実に図り、家庭的な雰囲気の中に「ゆったりとした楽しみのある食事」を提供できるよう努めると共に、安全でかつ衛生面に留意し、食事の提供を行った。

給与栄養目標量

(常食の栄養基準)

栄養素	基準値	栄養素	基準値
エネルギー	1500Kcal	ビタミンB2	1.2 mg
たんぱく質	60 mg	ビタミンC	100 mg
脂 質	40 g	カルシウム	600 mg
炭水化物	200 g	鉄	10 mg
ビタミンA (レチノール当量)	600 μg	食 塩	7 g
ビタミンB1	1.0 mg	食物繊維	20 g

※ 治療食については、医師の指示のもと看護と連携し提供

	エネルギー	たんぱく質	脂質	主食形態
糖尿食	1400Kcal	50 g	35 g	常食
糖尿食	1300Kcal	50 g	35 g	粥食

職員研修

日 程	研 修 内 容	場 所	参加者
4月 25日	職員研修会 西海市福祉施設連絡協議会総会	施設内研修 西海市西海総合福祉センター	14 3
5月 30日 31日	職員研修会 食中毒（感染症）予防研修会	施設内研修 長崎県総合福祉センター	15 1
6月 11日	施設看護師研修会 不在者投票指定施設説明会	長崎県総合福祉センター 佐世保市県北振興局	1 1
12日	施設での看取り研修会	長崎県総合福祉センター	1
18日	高齢者特有の症状・疾患を学ぶ研修会	長崎県総合福祉センター	1
20～21日	初任者研修会	アルカス佐世保	1
27日	職員研修会	施設内研修	17
7月 4日	拘縮・褥瘡予防研修会	長崎県総合福祉センター	1
5日	食中毒及び感染症対策研修会 シーティング・ポジショニング研修会	施設内研修 長崎県総合福祉センター	20 1
18日	レクリエーションプログラム研修会	長崎県総合福祉センター	1
18～19日	九州老人福祉施設協議会職員研究大会	佐賀県	4
25日	職員研修会	施設内研修	17
8月 2日	接遇から学ぶクレーム対応研修会	長崎県総合福祉センター	1
22日	介護記録の書き方・活かし方研修会	長崎県総合福祉センター	1
23日	生活相談員研修会	長崎県総合福祉センター	1
29日	虐待防止研修会 職員研修会	長崎県総合福祉センター 施設内研修	1 14
9月 10日	新入社員防火研修会	佐世保市消防局	1
13日	西海市福祉施設研修部会	西海市西海総合福祉センター	1
19日	職員研修会	施設内研修	15
25～27日	H C R 国際福祉機器展	東京	4
27日	介護現場の排泄ケア実践ポイント研修会	西海市西海総合福祉センター	1
10月 10～11日	自営消防隊研修課程	県消防学校（大村市）	1
24日	職員研修会	施設内研修	11
28～31日	全国老人福祉施設研究会儀	愛媛県	4
11月 19日	全国老人福祉施設大会	水戸市	1
25日	夜勤を任せられる介護スタッフ育成研修会	長崎県総合福祉センター	1
28日	初任者フォローアップ研修会 職員研修会	長崎県総合福祉センター 施設内研修	1 13
12月 3日	職員研修発表会	ホテルニュー長崎	2
11日	認知症高齢者の食のトラブル研修会	長崎県総合福祉センター	1
19日	職員研修会	施設内研修	15
1月 30日	職員研修会	施設内研修	14

2月	13日	令和元年度九社連施設長研修会	福岡市	1
	27日	公益法人説明会 職員研修会	長崎県庁 施設内研修	1 14
3月	26日	職員研修会	施設内研修	15

## 7. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）

- (1) 日常生活を営むのに支障のある被爆者で、一人暮らしの方や介護を行っている家族等が、疾病、冠婚葬祭、公的行事、介護疲れ等の事由により、一時的に介護を受けられない方を当施設において短期間介護して、当該被爆者の生活の安定と被爆者の福祉の増進に努めた。

### ショートステイ利用状況（定員3名）

令和元年度 長崎県委託・・・利用日数 364日  
長崎市委託・・・利用日数 440日（利用率 73%）

### 月別利用日数

令和2年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
長崎県	37日	38日	34日	38日	28日	30日	37日	36日	32日	21日	28日	5日
長崎市	41日	27日	49日	41日	41日	32日	45日	39日	44日	33日	45日	3日
利用率	87%	70%	92%	85%	74%	69%	88%	83%	82%	58%	84%	9%
延人数	16	14	17	17	14	14	17	17	15	11	15	2

## 8. 防災対策

- (1) 地震やその他の災害の発生に備え、利用者・職員の人命と安全の確保を最優先に考え、災害等が発生した場合、職員に連絡が円滑に行えるよう「緊急時連絡体制」を強化した。
- (2) 防火設備の点検は、法定年2回に加え自主検査を行い、防災教育及び防火避難訓練を2回実施し、利用者の避難誘導を行った。

日	程	実施内容	場所	参加者
8月	20日	消防設備法定点検（業者）	----	----
11月	6日	避難訓練（夜間想定） 消火訓練、通報訓練、放水訓練	----	42
2月	15日	消防設備法定点検（業者）	----	----
3月	27日	避難訓練（夜間想定） 消火訓練、通報訓練、放水訓練	----	46

※ 消防設備点検（自主検査）適宜実施

## 9. 管理運営

### ア) 管理

- (1) 介護ICT化に伴い、眠りスキャン装置18台導入した。
- (2) 令和元年度原爆福祉施設設備整備補助事業により、電話設備・ナースコール設備を更新した。